

自己評価の結果について

学校法人旭川カトリック学園 名寄カトリック幼稚園
2018年3月6日

1. 本園の教育目標

『 おいのり・しんせつ・がまん 』

- ・キリスト教の教えに基づいて、日々の生活の中で人を大切に、互いを思いやることのできる豊かな心を育てます。
- ・明るく元気でたくましく、伸び伸びしたなかでも、礼儀正しい生活を大切にしています。
- ・友達と仲良く遊び、協力し、楽しく生活する中で、人への愛情や信頼感を感じ、すすんで善い行いをする心を養います。
- ・表現活動やさまざまな遊びを通して、神さまから与えられた力を十分に発揮し、豊かな感性、創造力を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

『 お約束を心にとめて・・・ 』

- ・すすんで挨拶をし、明るく温かい幼稚園を目指す。
- ・友達と楽しく過ごす中で、周りのことを考えて行動しようとする。
- ・食べ物の力を知り、一つひとつの食べ物を大切に、バランス良く食事をする。
- ・神様のお創りになったすべての物を愛する『思いやり』の心を育てる。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目・目標	取組み状況
1 保育の在り方 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割り、横割り混合の保育形態を生かし、クラスの枠に囚われず、職員全員で園児達と関わられるように工夫し、話し合っている。 ・食育は、「食育マットえいよう3兄弟」を使い、食べ物の力を知ることが出来た。次年度以降も、栄養素を身近に感じながら、楽しく食の大切さを学んでいきたい。 ・学期毎に職員で反省会を行い、保育を振り返る時間を設けている。保育者自身の反省点を再確認し、新学期に生かすことが出来ている。反省会を通して互いの反省点を共有し、職員同士が切磋琢磨し合うきっかけが生まれるよう臨みたい。 ・自由遊び等で作った作品を、保育室に飾ることにより、互いに認め合う姿が見られた。得意なことを自覚することで、生活の中でも意欲的に活動しようとする姿が見られるようになった。 ・保育の計画を立てる際、製作や行事の練習が園児の負担にならないよう、ゲームや散歩、季節の遊び等、気分転換出来る時間を取り入れた。その結果、園児は心にゆとりを持つてのびのびと活動することが出来た。
2 幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・各担任が、クラスの園児達の実態をとらえ、興味のある物を活動に取り入れた。それにより、活動の幅を広げることが出来た。今後は、各クラスの活動や様子を分かち合い、園全体の発展に繋げたい。 ・職員1人ひとりが子どもとの関わりを深め、多面的に子どもを見ることにより、クラスの分け隔てなく園児を理解し、その理解を職員で共有し、保育に生かすことが出来た。その結果、園児達が安心して園生活を過ごし、自分を発揮することが出来る環境が生まれた。 ・全職員が、園児の発達や課題について見通しを持ち、1人ひとりに関わるよう心掛けた。その結果、園児の成長を助長することが出来た。
3 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等、資質向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者として、園児の成長を自分の喜びと感じ、生き生きと保育に努めることが出来た。 ・カトリック幼稚園という意識を高めるため、月に1回キリスト教について学ぶ機会を設けている。 ・園児のこと、クラスの出来事等で必要なことや問題点等は、常に職員間で報告・連絡・相談し、対応した。また、保護者からの質問や要望に関して、適切な相談・対応することにより、職員間の連携が深まった。 ・園児一人ひとりの縦割・横割クラスでの様子を共有することで、園児を多面的な視点から見守ることが出来た。 ・行事の遂行に関して、職員1人ひとりが意識を高め、取り組むことが出来た。
4 保護者への対応及び 家庭との連携 園児に関わる情報の発信や受信、保護者のニーズの把握、要望や苦情に適切な対応を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から相談があった時には、職員会議等で検討し、園の方針と状況、平等性を考慮しつつ、出来るだけ応えられるよう努力した。今後も、保護者が相談や要望を伝えやすいオープンで温かい雰囲気作りを心掛けたい。 ・保護者より、長期休暇中の家庭での園児の様子や成長を聞くよう働きかけたことにより、学期間の切れ目なく、スムーズに園児と関わられた。それにより、保護者との連携の大切さを再認識することが出来た。 ・連絡内容により、伝える手段（手紙・口頭・電話等）を工夫することで、正確に家庭へ

	伝えることが出来た。
5 地域社会との連携 地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。	<ul style="list-style-type: none"> 保健センターやこどもらんどとの連携を密にし、子どもの成長を地域の機関と見守れるよう心掛けた。 小学校での給食体験は、良い交流の場となっている。今年度は、給食体験・音楽会の2回交流の場を設け、連携を深めることが出来た。今後も出来るだけ多くの交流を図りたい。 親子教室の充実に努めた。園児との交流は焼きいも等、昨年度同様継続して行うことが出来た。今年度は、「遊び」と「製作」をバランス良く保育を計画した。今後も、子どもの状況・発達に応じて保育を計画したい。 園庭解放は、使用時間や遊びのルール等を周知するため、玄関・掲示板にポスターを掲示した。また、必要に応じて、おたよりに約束事を記載した。今後も怪我のないよう保護者の方の協力を仰ぎながら、状況に合わせて対応したい。
6 研修と研究 研修・研究を積極的にを行い、専門性を高める努力をする。	<ul style="list-style-type: none"> 様々な分野の研修会に参加し、職員同士学んだことを分かち合い保育に生かすことが出来た。今後も積極的に参加したい。 今年度、「子どもの主体性」というテーマで園内研修を行った。主体性という点でクラス担任が、保育を振り返り、互いに情報交換をしたことにより、改めて、子どもの主体性の大切さや必要性を考えるきっかけとなった。 平成30年度幼稚園教育要領改定に伴い、「10の姿」を始めとする、改定内容を確認し、自主研修した。
7 情報公開 保育の現状や自己点検・評価の結果等を個人情報保護に留意しつつ、積極的に園だより等で情報公開する努力をする。	<ul style="list-style-type: none"> 家庭と園との相互理解を深めるため、学校評価を実施し公表している。 園児達の園での様子がわかるよう、その日の出来事をホームページ（ブログ）で更新している。今年度も引き続き、ブログに写真を添付するよう心掛けた。また、各行事の様子を伝える為に、ポスター掲示を行っている。今後も、保護者に園での園児達の様子を伝えられるよう、ブログの更新、ポスター掲示を続けたい。 クラスだよりの内容は、保護者に園児の姿がわかりやすく伝わるよう内容を深め、レイアウトを工夫した。今年度は、横割クラスの様子も掲載した。今後も、様々な園児の姿を発信したい。

・学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> 各自の自己点検、評価の結果に基づき職員会議を行った。取り組むべき課題について、全職員が共通理解し、それぞれが取り組み状況を話し合うことで本園の方針を明確にし、課題を再認識することが出来た。 縦割りクラスでの異年齢の関わりを通して、園生活のきまりや生活の質の向上が感じられる。一方、約束事が十分に身に付いていないと感じる場面もあり、課題が見えた。 業務分担を行い、クラス担任が、園児の遊び、生活の姿を多面的に把握することが出来るようにした。今後も、現状を維持しながら、より良い保育が出来るよう努力したい。 職員間で1日の流れを見直し、生活にゆとりを持たせながらも、遊びの時間を確保出来るように配慮した。 昨年同様、園児自身が危険に気づいて過ごせるよう指導を続けてきたが、未だ身に付かない現状がある。次年度も、意識づけをする必要を感じている。

・今後取り組むべき課題

課 題	具 体 的 な 取 組 み 方 法
保育の在り方	・園生活の約束事が、十分に身に付いていない事項があるため、次年度は、事前に周知していく。
保育の計画性	・園児の活動が、より豊かになるように、活動の展開に応じて、環境を再構成する。
保護者への対応	・新しい職員や職員の配置に変更があった時には、随時、お知らせする。更に、参観日等を利用し、紹介する機会を設ける。

6 ．学校関係者の評価

<p>◎評価方法は『A(満足)』『B(やや満足)』『C(やや不満足)』『D(不満足)』の4段階で、感想等も記入して頂く方法で実施。等の要望をいただいた。</p> <p>1. 「保育の在り方・保育の計画性」…A：18名 B：3名 C：1名 D：0名 「縦割り保育に賛成。」「縦割クラスは、皆が成長できるのでこれからも続けてほしい。」「お世話されること、することを経験し思いやりの心を学べた。」「行事が多く子どもが楽しんでいる。」「クッキングなどで食に興味を持ち、好き嫌いが減っている。」等の回答や、「園外保育の場所を他の所にしてみては？」という意見をいただいた。</p> <p>2. 「幼児への対応」…A：16名 B：3名 C：3名 D：0名 「先生方のクラスの分け隔てなく園児を理解してくれ、子ども達との関わりを深めてくれるのは良い。」「先生が遊びに入ることによって色々な友達と遊ぶようになった。」「子どもに対する先生方の対応が良い。」「子どもの性格を理解して対応してくれている。」等の回答や、「怪我をすることが増えている。」「怪我に気づいていないことがある。」「下の子に合わせた遊びになると、年長児が満足できているのか？」という指摘をいただいた。</p>
--

3. 「保育者としての資質」…A：16名 B：5名 C：1名 D：0名

「子ども1人ひとりの個性に合わせた成長を見守ってくれている。」「子どもの良い面や見直す所に気づいてくれている。」「先生、職員の方の役割を分担して、より多く、より良く子ども達に接してくれている。」「面談の時、横割クラスの話も聞けたので先生同士よく話していると感じた。」「子ども達への関わり、保護者達への関わりにとっても好感が持てる。」等の回答や「先生達がもっと生き生きしてほしい。」「遠足等で行う親子行事で先生により対応が違うので困る。」等の意見をいただいた。

4. 「保護者への対応」…A：15名 B：6名 C：1名 D：0名

「先生方、皆親切で親身になってくれている。」「何でも話しやすい雰囲気を作ってくれている。」「質問などをしても丁寧に対応してくれる。」「毎日、笑顔で挨拶してくれて、頑張っていた事等、一言報告してくれ嬉しい。」「何かあった時には、心配してくれ電話をしてくれありがたかった。」「トラブルを詳しく聞くことが出来対応がしやすかった。」等の回答や、「準備などの期間が短く、困ることがある。」「面談の他にも、もう少し子どもの様子を聞くことが出来ると嬉しい。」という要望をいただいた。

5. 「地域社会との連携」…A：17名 B：4名 C：1名 D：0名

「小学校との交流の場を作ってくれるので、子どもも小学校の様子がわかり良かった。楽しみにしている。入学を楽しみにしている。」等の回答や、「幼稚園と小学校の違いを教えてください。」「消防体験だけでなく、農業体験などしてみてもどうか？」という要望をいただいた。

7. 「情報公開」…A：15名 B：7名 C：0名 D：0名

「園・クラスだよりはいつも情報満載でとても楽しく見ている。」「ポスター掲示は行事の様子がわかり、楽しく拝見している。」「ブログは、園での生活の様子を具体的に知ることができて安心する。知ること子どもと園での出来事を話すきっかけになり嬉しい。」「写真がのっているのが良い。」等の回答や、「持ち物で分かりにくいことがある。」「インフルエンザの発症状況や人数を玄関等に貼りだしてほしい。」という意見・要望をいただいた。

その他…「幼稚園全体の雰囲気がとても良い。保護者も気軽に話しかけやすい。」「教育目標にもあるように、楽しい中にも礼儀正しく、しっかりと教育してくれている。」「休んでいた時に届け物をしてくれて嬉しかった。」「絵本の貸し出しがあるのは、読む機会にもつながりとても良い。しかし、古い本もあるので、保護者に協力を得て、修繕したり、寄付の募ってみては？」という回答・意見をいただいた。

7. 財務状況

大手監査法人である太陽有限責任監査法人(東京)の監査を受け、適正に運営されていると認められている。また、法人本部の財務状況報告により法人内各幼稚園及び学園全体の財務状況は職員の間にも周知されており、共通理解に立って効率的な運営に努めている。